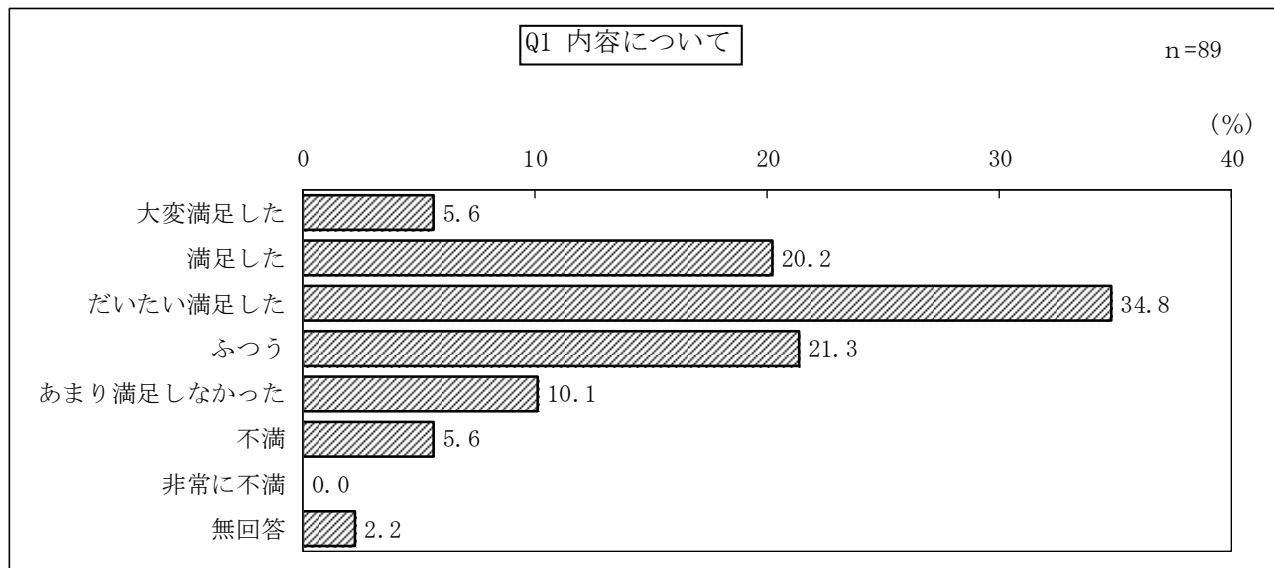


市民参加懇談会 in 横浜のアンケート結果

1. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 横浜」の内容、雰囲気について、あなたのお考えに最も近いものを番号に○印をお付け下さい。



その理由について

< 1 > 大変満足した

- 色々な方からのご説明やご意見を伺い、大変勉強になりました。(女性・40～50代)
- 地元の方々の声を直に聞いた。色々な意見が出され、非常に健全なる討論であったと思う。(男性・20～30代)
- 同じ目線。(男性・40～50代)
- 被災された当事者の方々、違う立場の方がお話して良かった。(女性・40～50代)
- 住民に不安をもたらした原因・要因について整理して発表されていた。(男性・40～50代)

< 2 > 満足した

- 地元の方の考えがよく伝わった。(男性・40～50代)
- 電力会社、地元自治体、一般市民、科学者等幅広い分野からそれぞれのご意見、主張を聞くことができた。ただ、懇談会の開催時間が「平日の午後1時30分から」というのは、一般の人が参加しにくい時間なので、せっかく良い内容なのに残念である。(男性・60代以上)
- お互いのコミュニケーションが必要であるということが確認できた。(男性・60代以上)
- 意見が明確でよかった。(男性・40～50代)
- 対話をしないことには理解も深まらないと思う。(男性・60代以上)
- 極めて良識的な意見により議論されていた点。(男性・40～50代)
- 皆さん、特に立地の人の生の声を聞いた。(男性・60代以上)

- 各立場の人から、それぞれの意見が聞けた。柏崎から来られた方々のご意見が特に良かった。
(男性・40～50代)
- 地元柏崎の方々の生の話が聞けて大変良かった。(女性・40～50代)
- 一般の方々の質問が(その主旨)よくわからなかった。もっと自分の考え、言いたい事と整理しておくべきと考えます。(男性・40～50代)
- 柏崎市の方が勉強されているお姿に感銘を受けました。(女性・40～50代)
- 内容が非常に身近に感じられた。(男性・40～50代)
- どの程度のレベルの意識かがつかめた。(男性・60代以上)

<3> だいたい満足した

- 地元の人の声が聞けた。会場の人々の生の声が聞けた。(女性・40～50代)
- 現状の原子力についてのあり方などはわかりやすかったが、対策については若干なかなか見えてこない部分もあったのでは…と思います。(女性・20～30代)
- 詳しい現状の説明等を伺うことができてとてもよかった。(女性・60代以上)
- 後半部分のやり取りが何よりも大切。後半部分のやり取りが満足したので判断した。
(男性・40～50代)
- 地元柏崎の皆様の発言によりややわかってきました。(男性・60代以上)
- 時間が短かったが、内容は充実していた。(男性・40～50代)
- もう少し時間が欲しかった。(男性・40～50代)
- 地元の取組や市民の方の色々な意見が聞けてよかった。(男性・40～50代)
- 参加者(パネリスト)の人選が良かった。(男性・40～50代)
- 内藤さんの話がわかりやすかった。(男性・40～50代)
- 立地地域の生の声が聞けた。(男性・40～50代)
- アジェンダから離れて焦りがあるのは分かるが、せめて専門家の意見を最後受けるべきではなかったかと思う。日本の原発は地震で爆発すると誤解されたのではないかと不安だ。
(女性・20～30代)
- 柏崎の状況が分かった。一般の方の視点が少しではあったが垣間見れた。(男性・40～50代)
- 柏崎の地元の意見を聞いたこと。都市に住む方々の意見も聞いたこと。(男性・40～50代)
- 内容は概ね予測できるので…。(女性・40～50代)
- 会場からの質問への時間不足。(男性・40～50代)
- 情報公開について、皆が不満に思っていることがわかった。(男性・20～30代)

<4> ふつう

- 東京電力の方のお話は早口で理解出来なかった。(女性・60代以上)
- 所用により中座となったが、様々のバックグラウンドの参加者で運営された点。
(男性・40～50代)
- 横浜(首都圏)で開催する意味をもっと出してよかったのではないかと思う。
(男性・40～50代)

- 柏崎関係者の感覚や意見を聞いたのは良かった。しかし、議論の集約が十分できなかったと思う。(男性・60代以上)
- 私自身の勉強にはなったが、原子力の理解促進活動としては不満。(男性・60代以上)
- ディスカッションの時間が短かったが、参考になった。(男性・20～30代)
- 適切なキャスティングであった一方、内容がある程度想定された範囲にとどまった。会場からの質問時間を多くしても良いのでは？(男性・20～30代)
- 最初の発言主旨は、配布してはいかがでしょうか？(男性・40～50代)
- 趣旨は全面的に結構ですが、やはり大衆の声を上手く聞き出すことは難しいものだと思います、ご協力に感謝。(男性・60代以上)
- 掘り下げについてもう少しもの足りない。マスコミのあり方について、もう少し議論が必要。マスコミ代表の人の意見が抽象的レベルにとどまっていたことは不満。(男性・60代以上)
- 題材は良いが、焦点がはっきりしなかった。(男性・20～30代)
- 良識のあるパネリストで、分かりやすい話を聞いた。後半、趣旨の焦点がボケた。(男性・40～50代)
- 相反するコメント、議論、地方と消費地との差が伺えたらよかったですと思います。(女性・40～50代)
- 少し話題が発散(原文どおり)していたような気がします。(男性・20～30代)

<5> あまり満足しなかった

- 原子力知識のレベルがマチマチであろうが、どの程度のグレードの人を対象にするかと絞ってやらないと総花的になり、余り印象のない話が多かった。(男性・60代以上)
- 原発事故の責任者が事件を隠ぺいしたことについて、原発の危険性に全く触れられていなかった。(男性・60代以上)
- 一般の方は、原子力の事を全くといっていいほど理解しておられない。次回からはせめてモデルでも展示しながら説明が必要ではないか。(男性・60代以上)
- 柏崎の人の声をもっと聞きたかった。(男性・60代以上)
- 放射線被曝についての教育不足。メディアのあり方に不満。(男性・60代以上)
- ある限られた時間があり、議論をするのだけれど、議論が収束しない。テーマを区切って実施してみても？ つまり、地震災害という点、原子力トラブルという点、風評被害という点、などなど。(男性・40～50代)
- 放射能漏れ：科学を優先すべき、人間の心配さでは解決すべき領域が異なる。(男性・40～50代)
- 特に、参加者の少なさが問題。婦人会等を通じてもっと地味な会合を数多く持つ方が良い。(男性・60代以上)
- 原子力批判をしない話題への誘導であった。答えの分かっている懇談会であった。(男性・60代以上)

< 6 > 不満

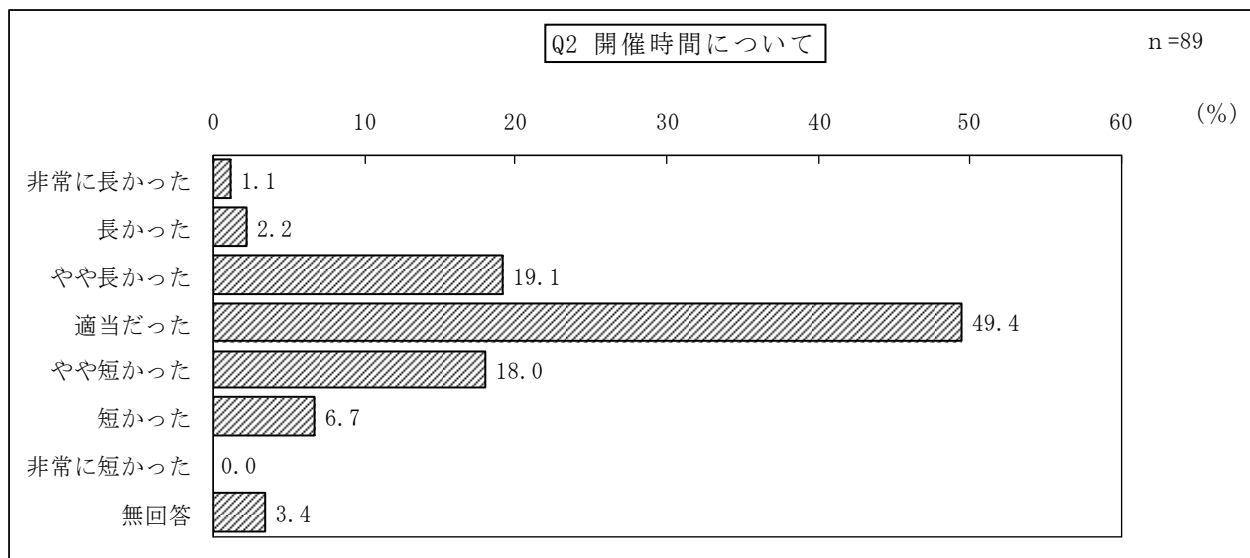
- 想定を上回った地震に見舞われた時の原発の安全性、廃棄物の処理について、ミサイルを打ち込まれたときの安全性について聞けなかった。(男性・60代以上)
- 放射能について、たいした影響はない、に終始した。最後に地元の新野さんの本音が聞けたのは良かった。(女性・60代以上)
- 東電や行政が変わるとは到底思えないから、もう少し違った意見の人を人選しないと、やはり“やらせ”か実績づくりと思ってしまう。(男性・40～50代)
- 広聴会？ 東京電力のPR？ 柏崎市の地震経過報告？(男性・40～50代)

< 7 > 非常に不満・・・記述されたご意見はありませんでした。

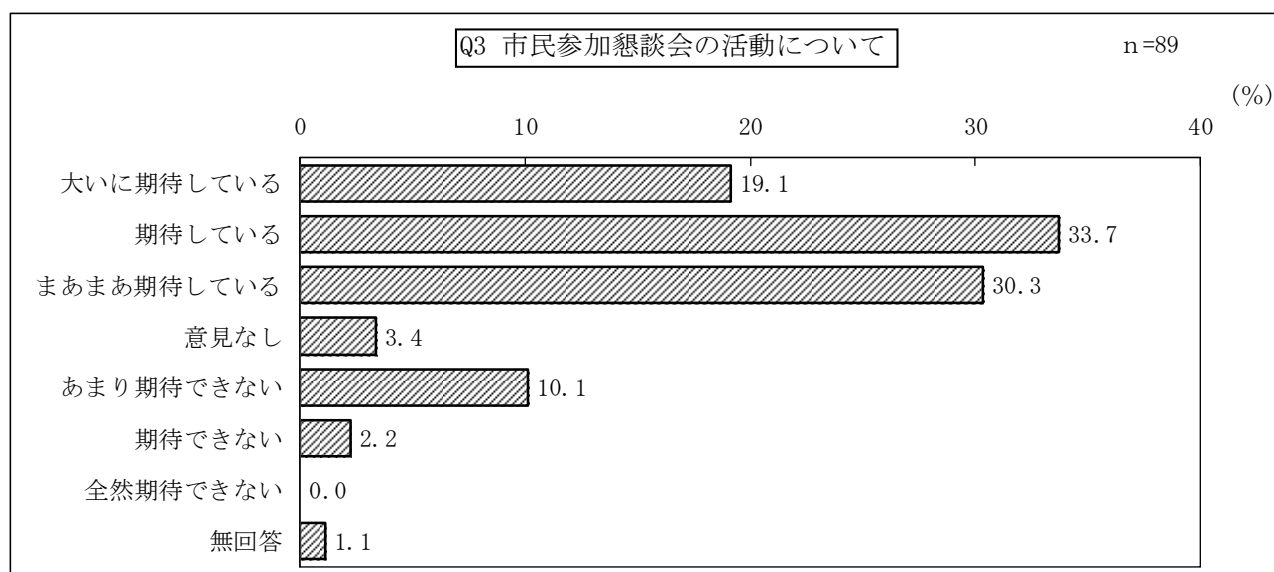
< 8 > 無回答

- タイムリーな設定だったと思います。残念ながら、緊急時にどこがリーダーシップをとるかがまだ見えなかった。(男性・60代以上)
- ・メディア、公衆への情報提供のあり方について、各種の考えがあるのがわかった。
・人の異動(国、社会)が地域との共存に与える影響の大きさ。(男性・40～50代)

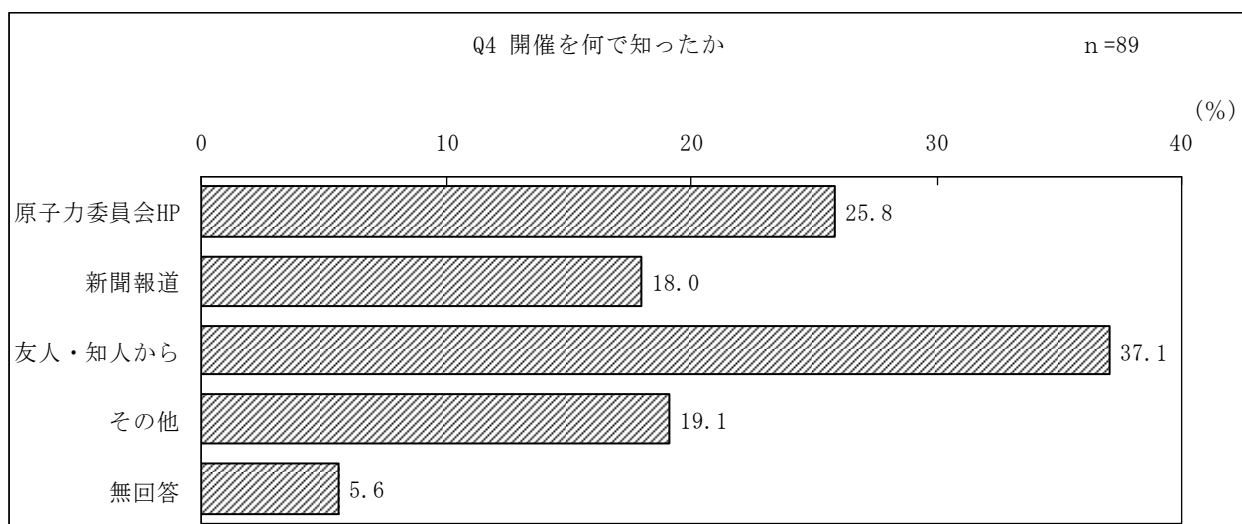
2. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 横浜」の開催時間(3時間)について、あなたのお考えに最も近いものの番号に○印をお付け下さい。



3. 今後の市民参加懇談会の活動について、あなたはどのように思われますか。あなたのお考えに最も近いものの番号に○印をお付け下さい。



4. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 横浜」の開催を何でお知りになりましたか。



<その他への記述>

- | | | |
|---|----------------------------|---------------------------|
| <input type="radio"/> 新聞折込広告 | <input type="radio"/> 学会通信 | <input type="radio"/> 広報紙 |
| <input type="radio"/> メール配信（原子力学会メール・WENのメール） | <input type="radio"/> チラシ | |
| <input type="radio"/> サンケイリビング | | |

5. 本日の「原子力委員会 市民参加懇談会 in 横浜」で、あなたにとって興味深かった意見や事項、その他お気づきの点などがあればお書きください。

<市民参加懇談会について>

- ・司会の中村氏が「どこにでも防災無線ってあるのではないですか」とおっしゃったことに驚いた。都市部では無いのが普通ではないのですか。
・予定通り終了してください。(女性・40～50代)
- 風評被害が大きいこと、無知がパニックの元、教育が必要、は同感(男性・60代以上)
- 風評被害は大きな問題だと思います。隠さず発表することの大切さ? 痛感しました。関東大震災大震災のときのデマで命を失ったひともいるときいている。(女性・60代以上)
- 地震の入倉先生、松原先生のお話が必要。(男性・60代以上)
- 風評被害について、非常に同感します。(男性・40～50代)
- やはり、問題として多く取り上げられた柏崎の話から入り、原子力問題へ明確に判りやすく入っていきやすかった。懇談会構成員も様々な方々で、それぞれの方面から語られる原子力については大変勉強になりました。原子力についてはこういう機会を増やしていただけるとありがたいし、良いのではと思いました。(女性・20～30代)
- 柏崎観光協会の会長さんからの風評被害についてのお話は、具体的で興味深かった。原発で事故が発生した場合、電力会社は特に広報、また、日常の地元に対する更なる配慮等が重要と考えさせられた。(男性・60代以上)
- 柏崎市の風評被害の大きさ。(男性・40～50代)
- 新潟県中越沖地震の影響と対応についての説明が長すぎる。印刷物でなく、省エネのためにはスクリーン、パワーポイントを使用すべきではないか。(男性・40～50代)
- 情報の提供、公開の質、扱い方について。(男性・40～50代)
- 世間に原子力について安心してもらうためには、原子力発電を支えている作業者の話を聞くことが最も大切であると思う。この会が、一般人と原子力業界の人と交流できる唯一の接点であれば、この会こそが、原子力の信頼を得るツールではないかと思う。(男性・20～30代)
- 推進派の意見が多かった。(男性・60代以上)
- 懇談会出席希望のアンケートで、メディアの責任を言った人が80%あったという情報は、なるほどそれだけあったか、という印象を受けた。(業者もそれは書いた)(男性・60代以上)
- 1. 興味深い松原さんの発言で、誰が安全宣言するのかです。誰がその役割をするのか、その役割を明確にしておかないと国民の信頼は得られない。国民に理解されない(信頼されない)原子力委員会や安全委員会は何のためにあるのか疑問。役割の見直しをしっかりと考えるべきではないか。誰もが責任回避している。責任回避の典型ではないか?
2. メインテーブルの人数を減らすべき。発言の回数を増やさないと議論が拡散してしまう。(男性・40～50代)
- 発言者・松原純子氏の発言。チェルノブイリ原発事故について発言していた事。(男性・60代以上)
- 発言させていただき、ありがとうございました。(男性・60代以上)

- 柏崎の海中断層の存在と立地見直し。(男性・40～50代)
- 風評被害のこわさ(内藤氏)。一度失った信頼の再構築(浅田氏)。(男性・60代以上)
- 地震に関する話題。(男性・40～50代)
- 一人一人の発言が長かった。もう少し要点をしぼって発言して欲しい。(男性・20～30代)
- 立地地域の人々がいろいろ勉強していることに、当たり前だが感心しました。それに比べ、消費地である首都圏の人が何も知らずに電気を無駄使いしていることに問題はないのか、考えさせられました。(女性・40～50代)
- 最後の方の意見(起きるはずのない地震が起きた)についての議論が進まなかったのが残念。(男性・40～50代)
- 最後の会場意見(震度5、テポドン)は、事実と違う点は明確に否定すべきだった。理解を生む。(男性・40～50代)
- 「無知がパニックを引き起こす」ということは理解できる。しかしながら災害時にはリアルタイムの報道がされる(日本国内のみならず国外にも)ので、情報提供もリアルタイムに行う必要があろう。しっかりした情報提供があって初めて判断できる状況になるからである。(今回は第一報でイタリアのサッカーチーム来訪中止など、インパクト大)(男性・60代以上)
- ①開催の規模、出席者顔触れなどに比べ、一般市民の参加が少ない。市民参加をもっと増やす努力をすべきである。費用対効果がアンバランス。例えば、横浜市と共催し、市の公報からPRする、各種市民団体へPRする、市民講座に兼ねる等々。
②柏崎から出席の新野良子さん、内藤信寛さんの話は大変感銘を受けた。(男性・60代以上)
- 地元の生の声がきけたこと。(男性・40～50代)
- 内藤様の意見発表と意見はすごく参考になった。(男性・60代以上)
- 消費地の方の考えの一部が聞けたこと！(男性・40～50代)
- メディアや教育への言及があったのが印象深かった。もう少し全体的に具体的な話がもっとあった方がさらに分かりやすく良かったのでは。(女性・20～30代)
- 風評被害問題。(男性・60代以上)
- ・地域の会の設置経緯等、今まで分からなかったことがある程度分かり、よかった。
・情報発信のスピード、正確性の大切さがわかった。(男性・40～50代)
- 横浜市に防災無線がないことには驚き。(男性・20～30代)
- 地震対応への否定的な意見が少なかった。(事業者への)(男性・40～50代)
- 新野さんの率直なお話がとても印象的だった。実家の民宿の件もあわせて、内藤さんのお話はとても興味深く聞いた。自分自身、他人事にしないで自分でいろんなことを「知る」努力が必要だと参加して思った。(女性・40～50代)
- 観光協会の内藤会長の言葉「共生」が強く印象に残った。原発のあることによる風評被害を受けてはいるが、普段の原発のあることによるメリットを受けているからでしょうか。(男性・40～50代)
- 情報の伝え方には、地元と消費地の2つあり、アプローチは異なる。遠くにいと新聞、TVから情報を得るが、第一報が印象的な活字、映像だと、その後企業や総理がどう言ったって隠しているだろう、もっと被害はあるはずだ、とカンぐってしまう。いくら情報開示しても、マ

- スコミという色メガネをつけた後では、不信感はぬぐえないと感じました。(男性・40～50代)
- 実際の地震による物理的な被害より、マスコミによる情報発信による被害の方が、地元の方に多大な損害を与えていたことに驚いた。マスコミ向けの市民の声を届ける懇談会の方が必要なのでは、と感じた。(女性・40～50代)
 - 柏崎市の方の生の声をきくことができて良かったです。(女性・40～50代)
 - 新野さんのお話が一番参考になりました。(男性・60代以上)
 - 柏崎の方の生の声がきけたこと。(女性・40～50代)
 - 市民参加懇談会構成員から発言者への逆質問が多く、又、詰問・誘導調であったことが気がかった。(気持ちの悪いものではなかった)(男性・40～50代)
 - ・松原先生のお話(特に)
 - ・教育の大切さ
 構成員全員のご意見が伺えなかった事が残念でした。(女性・40～50代)
 - 地元の苦しみに対して、消費者の立場でお礼を言いたい。苦しみを除くためにもエネルギー政策の転換を！(女性・60代以上)
 - 透明性確保の会の苦勞。(男性・40～50代)
 - 新野さんの取組みの報告について、多方面にわたる参加者の中での対応、興味深く伺いました。(厳しいコメントという意味で)(男性・40～50代)
 - 地元の方の声を直接伺えたので、個人的にはとても有難い情報でした。有難うございました。(男性・60代以上)
 - ・風評被害は無知な一般人が悪い←ふざけるな！！ 知識が無い人がほとんどだ！！
 - ・Ｃクラスの設備被害はいいのか？！(男性・40～50代)
 - 広報のあり方についての新野氏の最後の発言は厳しいが真実があった。(男性・60代以上)
 - 市民協力があって原子力推進をしている、というような道具にされるような不安を感じる。(男性・60代以上)
 - 発言者からの意見として、原発立地点は恵まれている。防災のための設備は、都会より整っている。(男性・40～50代)
 - 新野さんのお話、もっともであり、お聞きできて良かったです。ホームページ等で文章にまとめていただくと役に立つと思います。(女性・40～50代)
 - 是非、柏崎でもやって、市民の声を聞く機会を作って欲しい。何かが得られるかと思います。(男性・20～30代)
 - 一般の方の発言が長すぎる。もっと多くの方の声を聞きたかった。(男性・40～50代)
 - 懇談会の進め方が良くない。参加者(出席者を含め)知識のレベルが違いすぎる。この場からは何も生まれてくる気がしない。(男性・40～50代)
 - プレス発表の遅れや訂正により、市民・国民の信頼を得ることができなくなるという意見は、まさにその通りであると思う。(男性・20～30代)
 - 原子力の安全全般について、情報公開、教育、マスコミ報道にいろいろ問題が絡まっていると思った。(男性・40～50代)

- 柏崎市（現地）の生の声が聞くことが出来、良かったと思います。（女性・40～50代）
- 放射能、放射線について、教宜上ロジカルでない点につき明解が得られなかった。
（男性・60代以上）
- ・柏崎の内藤さんの話が面白かった。
・地元の人話を直接聞けるのは大変良いと思う。
・会場の発言する時間が少ない。（男性・60代以上）

<情報提供・収集のあり方について>

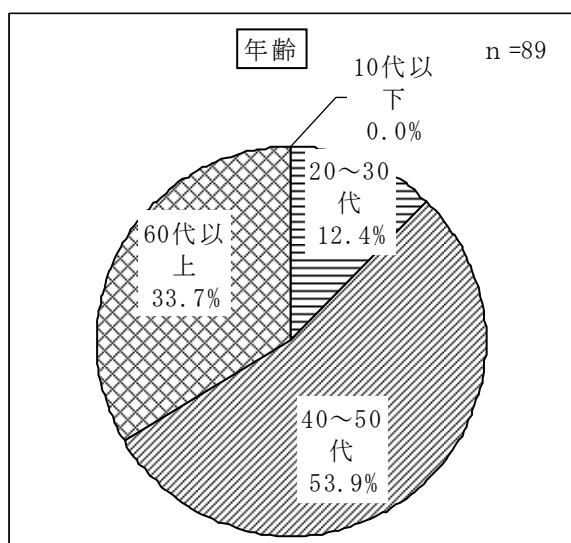
- 初等教育で地球温暖化などエネルギー問題の一環として取り上げる。唯一の被爆国として原子力を避けないことこそ、戦後レジュームからの脱却！（男性・60代）
- 正確な情報の必要性を感じた。原子力についての教育をもっとすべきではないか。情報を発表するスピードも重要である。（男性・60代以上）
- ・迅速で正確な情報発信の必要性。
・メディア対策（不正確な情報に対する）の必要性。
・放射線、放射能についての教育、普及の必要性。（男性・60代以上）

<その他>

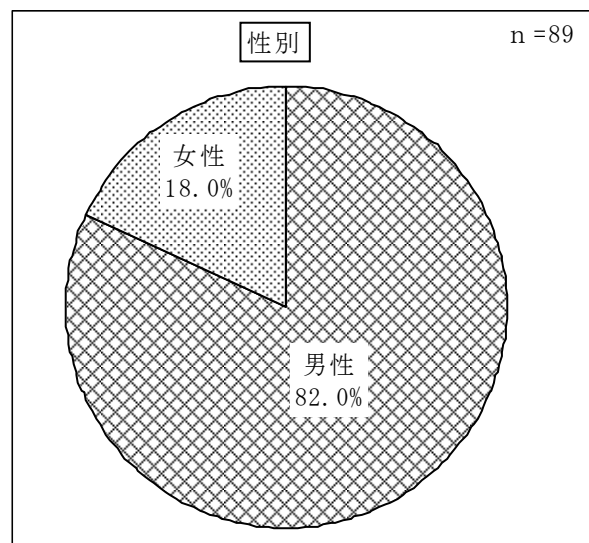
- 都会の防災は対策がどうなのかという点も気になった。（男性・40～50代）

6. 差し支えなければお答え下さい。

（１）年齢



（２）性別



以 上